

2022年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科／サウンドクリエイターコース											
音楽基礎1-A											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	田熊 知存			実務 経験	有	職種	作編曲家				
担当教員紹介											
幼少の頃からエレクトーン・Jazzピアノを習い、コンクールで優秀な成績を収める。 様々なアーティストのサポート演奏や楽曲提供を手がけており、幼い頃に影響を受けたDisney音楽のような歌心がありファンタジックな曲の制作を得意とする。											
授業概要											
現代の多様化した音楽には様々なジャンルの音楽が混在しているが、その中には過去からの確立した理論がベースに存在している。その知識を深め、多様なアプローチから作曲・編曲が出来るための基礎を学ぶ。											
到達目標											
学校指定のグレードをマスターすること。理論の中でも特にコードについて理解することを目標とする。インターバル、和音構成など基本的な知識の定着からスタートするが、ヴォイスिंगの選択など現場に対応できる能力を身に着ける。											
授業方法											
学校指定教科書から学ぶ、また必要と思われる部分は補足して講義する。 プロジェクター・ホワイトボードを使い、音を確認しながら説明する。											
成績評価方法											
試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価									
成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価									
平常点	10%	積極的な姿勢									
履修上の注意											
筆記用具と五線譜ノートを持参する。 他の理論授業（特に水曜日の専攻ゼミ）と連携して進めていくため、授業時間外での予習・復習をする。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	音楽理論を学ぶにあたっての注意点 レベルチェックテストを行う										
第2回	インターバル（音程）について理解する										
第3回	トライアドコード（3和音）のインターバルについて理解する										
第4回	インターバル（音程）とトライアドコード（3和音）表記の関係性を学ぶ										
第5回	7thコード（4和音）のインターバルを理解する										

2022年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／サウンドクリエイターコース	
音楽基礎 1-A	
第6回	インターバル（音程）と7thドコード（4和音）表記の関係性を学ぶ
第7回	インターバルとコードの理解度を確認する
第8回	調性とCycle of 5th(5度圏) について理解する
第9回	Chord name(コード名とDegree name(度数) を理解する
第10回	Major Scale Diatonic Chord(メジャースケールダイアトニックコード) について理解する
第11回	Minor Scale Diatonic Chord(マイナースケールダイアトニックコード) について理解する
第12回	ダイアトニックコード(Major Minor)のFunction(機能) とCadence(カデンツ) について学ぶ
第13回	コードの転回形とヴォイシングを理解する
第14回	音程・和音・調整・機能・カデンツの復習と確認
第15回	前期授業内容の理解度を確認